

コメント

1. インフルエンザ

定点当り1.32人と急増し、**流行開始の目安とされている定点当り1.00人を超えました。**まだ報告数は少なく、地域によって差がありますが、例年流行が始まると、短期間に感染が広がりますので、手洗い・うがいの励行など予防に心がけるとともに、今後の動向に注意してください。

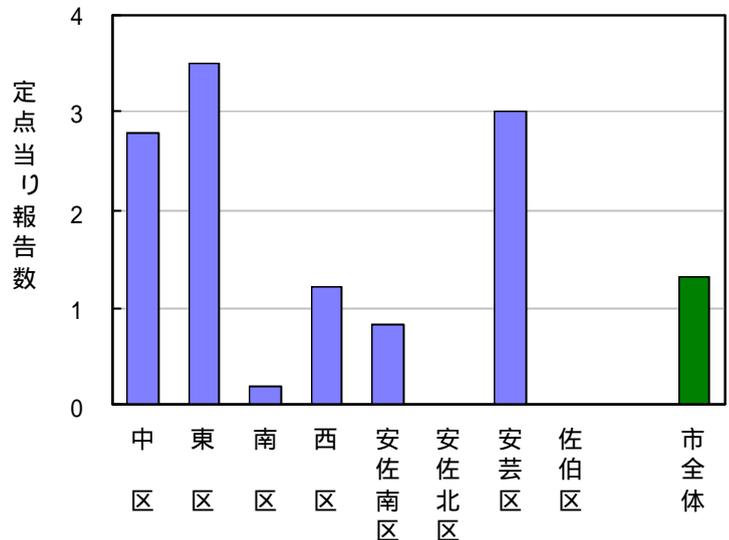
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.83人と増加しています。佐伯区では4.3人と特に多く、安芸区2.5人、中区2.0人となっています。

3. 感染性胃腸炎

定点当り7.92人とほぼ横ばいとなっています。安芸区17.5人、中区14.0人となっています。

インフルエンザの区別定点当り報告数(第3週)



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	49	1.32	17.40	↑	麻疹(注3)	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	14	0.58	0.07	↘	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.93	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.83	0.84	↗	RSウイルス感染症	18	0.75	0.29	→
感染性胃腸炎	190	7.92	14.17	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	36	1.50	2.22	↘	流行性角結膜炎	3	0.38	0.83	
手足口病	7	0.29	0.27		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	9	0.38	0.31		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
突発性発しん	14	0.58	0.70		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.32	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.04						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1) 過去5年間(RSウイルス感染症は3年間)の同時期平均(定点当り)
 (注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3) 成人麻疹を除く
 (注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	つつが虫病	3	3	男性(40歳代)、男性(60歳代)、女性(60歳代)
5	急性脳炎	1	1	女性(10歳未満)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
広島市	第51週	14	14	41	397	54	2	9	6	-	-	-	-	7	52	-	5	-	-	3	-	-
	第52週	29	9	36	238	55	-	10	16	-	1	2	-	3	55	1	2	-	-	4	-	-
	第1週	18	19	17	162	31	-	2	7	-	1	-	-	3	28	1	9	-	-	1	-	-
全国	第2週	12	21	22	185	51	6	9	12	-	-	2	-	4	19	-	6	1	-	5	-	-
	第3週	49	14	44	190	36	7	9	14	-	-	2	-	7	18	-	3	-	-	3	-	-
	第1週	0.38	0.58	1.71	16.54	2.25	0.08	0.38	0.25	-	-	-	-	0.29	2.17	-	0.63	-	-	0.43	-	-
広島市	第52週	0.81	0.39	1.57	10.35	2.39	-	0.43	0.70	-	0.04	0.09	-	0.13	2.39	0.13	0.25	-	-	0.57	-	-
	第1週	0.49	0.79	0.71	6.75	1.29	-	0.08	0.29	-	0.04	-	-	0.13	1.17	0.13	1.13	-	-	0.14	-	-
	第2週	0.32	0.88	0.92	7.71	2.13	0.25	0.38	0.50	-	-	0.08	-	0.17	0.79	-	0.75	0.14	-	0.71	-	-
全国	第3週	1.32	0.58	1.83	7.92	1.50	0.29	0.38	0.58	-	-	0.08	-	0.29	0.75	-	0.38	-	-	0.43	-	-
	第1週	0.22	0.29	0.81	4.99	2.44	0.16	0.32	0.34	-	-	0.01	-	0.69	0.02	0.60	0.02	0.02	0.37	0.02	-	-
	第2週	0.37	0.29	1.34	6.21	2.69	0.20	0.57	0.65	0.01	-	0.02	-	0.85	0.03	0.74	0.02	0.02	0.49	0.01	-	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	3	女	2006/12/04	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス3型
咽頭結膜熱(疑)	7	男	2006/12/13	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス3型
感染性胃腸炎	2	男	2006/12/01	糞便	アデノウイルス3型
感染性胃腸炎	9	男	2006/12/05	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	3	男	2006/12/05	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	12	男	2006/12/12	糞便	ノロウイルスG2群
手足口病(疑)	1	女	2006/11/17	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
腸重積症	3	男	2006/12/01	糞便	アデノウイルス2型
肺炎	0	男	2006/12/06	咽頭拭い液	アデノウイルス3型

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行状況 - 流行開始からピークまでの期間 -

シーズン	流行開始時期 (定点当り1.00人以上となった週)	ピーク		
		ピークとなった週	定点当り報告数(人)	流行開始からピークまでの期間
1999/00	第51週(12月20日～12月26日)	第4週(1月24日～1月30日)	50.73人	5週間
2000/01	第7週(2月12日～2月18日)	第11週(3月12日～3月18日)	2.84人	4週間
2001/02	第2週(1月7日～1月13日)	第8週(2月18日～2月24日)	47.68人	6週間
2002/03	第49週(12月2日～12月8日)	第3週(1月13日～1月19日)	36.35人	6週間
2003/04	第3週(1月12日～1月18日)	第6週(2月2日～2月8日)	36.22人	3週間
2004/05	第3週(1月17日～1月23日)	第8週(2月21日～2月27日)	55.84人	5週間
2005/06	第49週(12月5日～12月11日)	第4週(1月23日～1月29日)	51.08人	7週間
2006/07	第3週(1月15日～1月21日)			

1999/00シーズンから2005/06シーズンまでの7シーズンの中で、流行開始の目安とされている定点当り1.00人以上となった週からピークとなった週までの期間をみると、最も短かったのは2003/04シーズンの3週間、最も長かったのは2005/06シーズンの7週間で、平均すると5.1週間となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第3週(1月15日～1月21日)